

当麻の風景

自然豊かな当麻の地に建つ相模原養護学校。

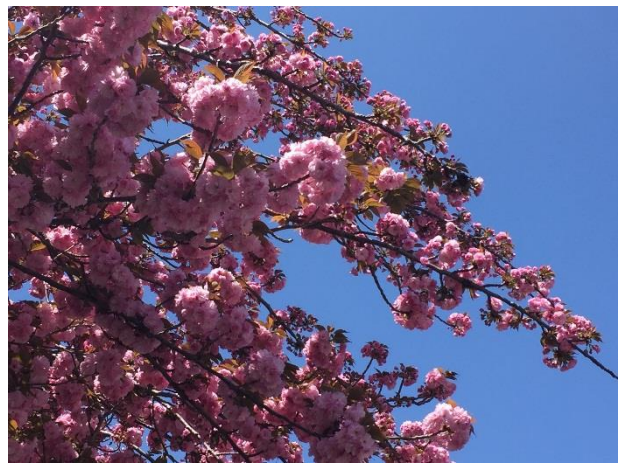
学校の敷地内には四季折々に美しい表情を見せてくれる樹木が数多く植栽されています。春のサクラに始まり、梅雨の時季のアジサイ、初夏にはビワの実がたわわに実り、秋には金木犀が芳香を放ちます。冬の寒い時期にもサザンカが真っ赤に花を咲かせて目を暖めてくれます。

日々、朝に夕に校内巡視をする中で、これらの風景に何度となく目を奪われ、励まされてきました。

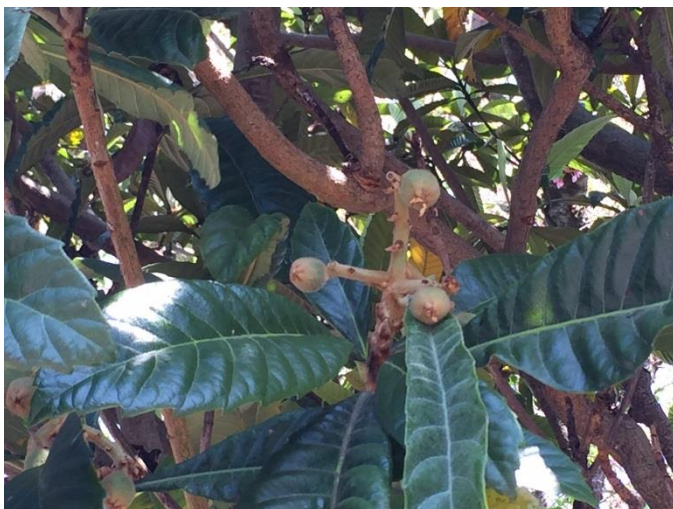
不定期ではありますが、学校内の四季の移ろいの風景をご紹介します。

学校へお越しの際には、その風景をぜひ探してみてください。

4月の風景より



今年は開花が遅れた桜でしたが、入学式にはソメイヨシノ、4月中旬からは八重桜が満開となりました。八重桜の花を摘み取って塩漬けにすると、おいしい桜湯が楽しめます。



ビワの実が少しずつ大きくなってきました。

11月に白い小さな花を咲かせ、長い時間をかけて果実を実らせます。前庭から駐車場に向かう右手の防災倉庫の脇に堂々たる樹形を誇っています。5月末には果実がたわわに実ります。